別紙２

予　算　要　求　資　料

令和８年度１２月補正予算　　支出科目 款：衛生費　項：環境管理費　目：環境管理推進費

事 業 名 【新】クビアカツヤカミキリ緊急防除対策事業費

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

環境エネルギー生活部　自然環境課　生物多様性係　　電話番号：058-272-1111(内2925)
E-mail：c11269@pref.gifu.lg.jp

１ 事 業 費　補正要求額　　102,465 千円　（現計予算額：　　－　　千円）

＜財源内訳＞

区　分	事業費	財源内訳							
		国　庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財　産 収　入	寄附金	その他	県　債	一　般 財　源
現　計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補　正 要求額	102,465	62,667	0	0	0	0	0	0	39,798
決定額	102,465	62,667	0	0	0	0	0	0	39,798

２ 要 求 内 容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

○特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」について、令和８年２月に海津市で幼虫を県内初確認し、６月には各務原市で成虫を県内初確認、７月までに羽島市、海津市でも成虫を確認した。
○県としては侵入初期の段階で駆除するため、県全域での一斉調査と駆除を目的とした「クビアカツヤカミキリ駆除大作戦」を8/7～9/7に実施し、池田町で成虫と、岐阜市及び輪之内町でフラス（幼虫が木の内部を食い荒らして排出した木くずと糞が混ざったもの）を発見した。その後も調査を継続し、10/27現在、８市７町でフラスが確認されている。
○クビアカツヤカミキリは繁殖力や拡散能力が非常に高く、初夏になると成虫が出現して各地へ拡散することから、これ以上の被害を食い止めるため、緊急防除対策を行う必要がある。

（２）事業内容

○県事業の実施
　クビアカツヤカミキリを確認した市町に隣接する市町までを調査重点地域とし、県有施設等を一斉調査してフラスが発見された場合は、伐採等の駆除対策を実施する。
○市町村事業に対する支援
　クビアカツヤカミキリの駆除または防除の取組に対し、国の交付金を財源とする「岐阜県特定外来生物防除等対策事業補助金」により支援する。
【実施主体】市町村
【補 助 率】事業費の１／２以内

（３）県負担・補助率の考え方

○県実施事業
　国「特定外来生物防除等対策事業交付金」を活用し実施
　交付率1/2（調査費は交付率10/10（上限額500万円））
○市町村事業に対する補助
　県負担なし
　補助率（国の交付金の負担割合）は、国１／２、市町村１／２

（４）類似事業の有無

　無

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	21	有識者報償費
旅費	107	有識者旅費、業務旅費
需用費	4,342	防除資材購入、燃料費
委託料	80,126	被害木の調査費、伐採や樹幹注入、樹体ネット巻き等の委託費
補助金	17,869	市町村事業への補助
合計	102,465	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

・第７次岐阜県環境基本計画　基本施策３（３）外来生物の防除
・生物多様性ぎふ戦略　２－４　外来種対策を推進する

（２）国・他県の状況

【国の動向】
・7/31　農林水産大臣と環境大臣を本部長とする「クビアカツヤカミキリ対策本部」を設置
・9/11　「クビアカツヤカミキリ防除戦略」を策定
・10/6　令和８年度予算の予備費から約32億円の支出を閣議決定し、自治体の取組の支援を決定（R8.9.11以降の取組が対象）
【他県の動向】
・2012年（平成24年）に愛知県で国内初の被害が確認され、2026年（令和8年）には岐阜県をはじめとする６県で新たに被害が確認され、全国２２都府県に被害が拡大している。

（３）後年度の財政負担

　岐阜県は侵入初期の段階にあり、今の段階で徹底的に駆除を行えば被害を食い止めることができ、後年度の財政負担を大幅に抑えることができる。
　逆に今、対策を講じなければ被害が拡大し、後年度の財政負担が大きくなることが懸念される。

（４）事業主体及びその妥当性

　国が9/11に策定した「クビアカツヤカミキリ防除戦略」において、防除は被害木を所有または管理する者が実施することを基本とし、県が所有する施設や、県が管理する河川敷や街路樹は、県に防除の責務がある。

事　業　評　価　調　書（県単独補助金除く）

■　新 規 要 求 事 業
□　継 続 要 求 事 業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県内に侵入した特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」を、成虫が出現する来年初夏までに緊急駆除し、被害を食い止めたい。令和９年度予算で駆除を開始していては手遅れとなってしまうため、令和８年度予算で緊急対策を行う必要がある。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前（R8 ）	R8年度			終期目標（R8 ）	達成率
①						
②						

〇指標を設定することができない場合の理由

完全駆除を目標としており、指標（数値）設定がなじまない。

（これまでの取組内容と成果）

令和５年度	・県内でクビアカツヤカミキリは確認されておらず、取組なし
令和６年度	・県内でクビアカツヤカミキリは確認されておらず、取組なし 指標① 目標：＿＿ 実績：＿＿ 達成率：＿＿ %
令和７年度	・令和８年２月に海津市で幼虫を県内初確認し、農政部が病害虫発生予察特殊報を発出 指標① 目標：＿＿ 実績：＿＿ 達成率：＿＿ %

２ 事業の評価と課題

（事業の評価）

・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） ３：増加している ２：横ばい １：減少している ０：ほとんどない	
（評価） ３	国が今年度になり対策本部の設置や防除戦略を策定し、全国的に注目が集まっていることや、桜並木などが枯死すると落枝や倒木による事故発生の恐れがあり、県民の生命・財産に危害が生じる。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ３：期待以上の成果あり ２：期待どおりの成果あり １：期待どおりの成果が得られていない ０：ほとんど成果が得られていない	
（評価）	
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ２：上がっている １：横ばい ０：下がっている	
（評価）	

（今後の課題）

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 クビアカツヤカミキリは繁殖力や拡散能力が非常に高く、オール岐阜体制で、県と市町村が連携して対策を講じる必要がある。

（次年度の方向性）

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 完全駆除を目標とするが、再び他県からの侵入も考えられるため、継続して予算化し対策に備える必要がある。

（他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果）

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	